

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
総社市	園芸(秦果樹生産出荷組合)	令和3年2月17日	令和5年10月23日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	24.238 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	24.238 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	5.5245 ha
i うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	2.4513 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.0732 ha
iii うち後継者について確認していない農業者の耕作面積の合計	0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	4.4010 ha
(備考)	

注:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

## 2 対象地区の課題

新規就農者を増やし、産地を盛り上げることが課題である。  
新規就農者の受け入れを進めるためにも、園芸に適した農地が必要。  
引退する農業者の耕作地が耕作放棄地にならないようにする。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

新規就農者が継続して営農できるよう、まとまった農地を確保していく。  
組合員が引退する場合、事前に組合内で耕作地の引継ぎの相談ができるようにしていく。